

NPO 法人ハピタ 2019 年度 第 1 回通常総会議事録

- 1 日時 2019 年 6 月 11 日（火）12:00～13:00
- 2 場所 東京都千代田区紀尾井町 1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 18 階会議室
- 3 正会員総数 10 名 出席者数 10 名（表決委任者 0 名）
- 4 議長選出
定款の第 25 条に「総会の議長は、その総会において、出席した正会員の中から選出する。」と定めていることから、理事長の加藤拓也が議長を務める旨を諮ったところ、満場一致で承認された。
- 5 議事録署名人選出、書記任命
書記及び議事録署名人として、田宮隆宏、長井佳代子を選任する旨を諮ったところ、満場一致で承認された。
- 6 審議事項

第 1 号議案	2018 年度事業報告
第 2 号議案	2018 年度活動決算（活動計画書、貸借対照表、財産目録） 監査報告
第 3 号議案	役員選任
- 7 議事
全議案について、満場一致で承認された。
- 8 これまでの取り組みと今後のビジョン
- 9 質疑応答、議論

■ハピタツールに蓄積されるデータについて

PTA 役員は毎年変わるが、前年度のデータはどうするのか。

現在は、人に紐づいてお知らせやイベントが作成されるため、作成者がいなくなるとデータが消える仕様になっている。

が、残しておくことは可能。

現在は年度が変われば消すという規約で個人情報を取得しているため、改定も必要になる。

利用者にとってどちらがいいのかを聞いてみる必要があるのではないか。

引継ぎの意味も込めて、データは保存した方がいいとの意見もあるかもしれない。

ファイルは引継ぎ出来るようにするなど、役員が代わっても時系列ごとに情報が整理されていることを望まれるかもしれない。

将来的に理想の形を利用者に要ヒアリング。

■収益化について

ハピタツールは、現在の汎用版を販売するのか、汎用版は広くまいて、カスタマイズ版を販売するのかは要検討。

既存の4つの機能で売れるのか、今の段階では分からない。

導入していただける学校がもう少し増えて、利用者のニーズもヒアリングした上で決めていきたい。

■予算の出所について

PTA 予算から、ツール用に費用を捻出してもらうのは難しいのでは。

本来は学校のPTA 予算ではなく、市や区などの助成金で出してもらうのが理想。

啓蒙活動が必要。

■模倣対策について

もしツールが普及して、評判が高まってきたら、模倣する業者が出てくるのではないかと。

どうやって守るのか。商標や特許を取った方がいいのではないかと。

思想ややろうとしていること、ビジネスモデルに特許は取れないが、機能に対しては取れるのではないかと。

税理士への相談費用がかかるのではないかと。

今の段階で必要なのかも分からない。

■シェアリングエコノミーについて

シェアエコはニーズの掘り起こしが必要になる。

セキュリティ面など、学校側の抵抗があるのがハードルになる。

■株式会社化について

株式会社にはしないのか。

まずは学校や地域の理解を得ないといけないので、NPO 法人として起業した。

ただ、NPO 法人の中には同一名で株式会社化している法人もある。

ゆくゆく本来の地域向けの事業以外に収益化できる事業が出てきたら考える。

学校や地域相手なので、営利目的だと思われたくない。

あくまでも学校や地域のためにやっている。そこで信頼を得たい。

2019年6月11日

議長

加藤 拓也

議事録署名人

長身 佳代子

議事録署名人

田宮 隆宏